

広報 もっと身近に もっと知りたい

とくべ

2023

4

April



【特集】

令和5年度 町政執行方針 …p.2
教育行政執行方針
当初予算の概要

【現代を生きる】

大畑 富雄 さん …p.9

【今月の表紙】

ロイズタウン駅1周年を記念した
バスツアーではまなす号が初入線

令和
5年度

町政執行方針

教育行政執行方針

令和5年第1回当別町議会定例会で、新年度の町政執行方針および教育行政執行方針が後藤町長、三澤教育長からそれぞれ述べられましたので、その内容と新年度の予算概要をお知らせします。



町政執行方針

デジタル田園都市の実現に向けて

これまで、高齢者への「デジタルデバインド対策」や小中学生への「プログラミング教室」の開催、「LINE」を活用した町の情報発信のほか、商工業者への「キャッシュレス決済」など、施策の種まきを進めました。

この歩みをさらに加速させるべく、「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2期）」の改訂作業を進め、新たな戦略プランとして『デジタル基盤の構築～デジタル田園都市「Tobetsu “DIGI” town」の創造～』を掲げたところです。

この新しい戦略プランは、デジタル技術の導入によって、日常生活のあらゆる場面をデジタルが支え、誰もが安心して住み続けられる、データ駆動型社会の形成と「Society 5.0」の実現を通じ、少子高齢化による人口減少を克服し、次代に引き継ぐための礎となるものです。

カーボンニュートラルの取り組み

これまでに、公共交通におけるBDFの活用や森林資源を活かした公共施設への木質バイオマス燃料の導入、各町内会への街路灯LED化の支援などを実施しました。

このような取り組みを土台とし、2050年までの脱炭素社会を目指し、令和3年4月に「ゼロカーボンシティ」の宣言を行い、令和4年度にはロイズタウン駅において地中熱を活用したロードヒーティング設備を導入しました。

併せて、今後の目標達成に向けたロードマップとなる「当別町ゼロカーボン推進計画」の策定にも取り組み、サステイナブル（持続可能）な社会の実現を目指します。

人口動態とまちづくりへの展望

人口全体は減少傾向にあるものの、総務省統計に基づく昨年の「社会人口」は、子育て世帯を中心に69人の増加となり、これまでの取り組みの成果が現れています。

その一方、本町のまちづくりの重要なファクターである「雪対策」では、今シーズンも災害級の暴風雪が発生し、国道・道道が通行止め、JRも運休となりました。毎年のように発生するこのような災害に迅速に対応できる「災害に強いまちづくり」の実現に向け、関係機関との連携強化や、さらなる除排雪サービスの充実など、各種対策の検討を進めます。

ウィズ/アフター・コロナ時代への対応

5月には、感染症法における「5類」への引き下げ措置にともない、ワクチンや医療機関での扱いなど、様々な変更が想定されます。

今後のウィズ/アフター・コロナ時代を安心して生活できるよう、マスクの有無を含めた感染症対策について、国・道の方針や社会動向などの情報収集を行い、迅速に町民の皆様へ情報を伝えつつ、社会経済活動の再開を図っていく考えです。

企業誘致推進プロジェクト 商工業活性化プロジェクト

大手ドラッグストアの西当別地区における開業の協議が整いつつあり、これにより、よりよい住環境の構築と、さらなる定住の促進が期待されます。また当該企業が持つデジタル技術を活用した「ポイントカードシステム」の導入について、商工会や関連事業者と検討します。

再生可能エネルギー利用プロジェクト 林業振興によるエネルギーの地域循環プロジェクト

「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 重点対策加速化事業」にチャレンジし、町民や町内事業所における再生可能エネルギー設備の導入支援を実施する考えです。

カーボンニュートラルの根幹となる林業振興では、北海道との連携による林業専用道の開設に向けた準備を行い、さらなる森林整備を進めてまいります。

道の駅プロジェクト

株式会社セブン-イレブン・ジャパンと連携し、新たな顧客の獲得に向けた第一歩として、道の駅内にセブン-イレブンを開業させ、また当別町産の黒豆やきな粉を活用した商品を開業に併せて札幌近郊の123店舗で販売するなど、当別町産品を活用した商品を広めました。引き続き、株式会社tobeによる新商品開発・6次産業化を支援します。

農業10年ビジョン推進プロジェクト

「水田活用の直接支払交付金」の見直しにより本町の農業は大きな転換期を迎えていることから、農業の将来像や経済成長への道筋を示す「農業10年ビジョン」の見直しを進めております。

また地域おこし協力隊を増員し、担い手対策を拡充するほか、花きのスマート農業実証事業を継続して、施設園芸分野におけるスマート農業の研究をさらに深めます。

このほか、国の「みどりの食糧システム戦略」の推進策として、有機農業などによる環境負荷低減や、付加価値の高い農産物を生産する農業者への新たな支援も実施します。

戦略プラン1の主要な事業	予算額
町内会街路灯LED化事業	257万円
担い手確保推進事業	1,610万円
環境保全型農業直接支払交付金	213万円
当別町地域間交流拠点施設（道の駅）指定管理業務	4,849万円
再生可能エネルギー設備導入推進事業	7,940万円
林業機械補助事業	1,200万円
道営林業専用道「中小屋線」開設事業負担金	677万円
道路照明施設更新事業	2,000万円

新しいまちの顔づくりプロジェクト

ロイズタウン駅周辺エリアに町内外の注目を集めることが重要と考えており、自動運転バスの実証運行を核とした賑わい創出事業に取り組み、まちのPRと周遊観光促進による交流人口増加と企業誘致の推進に繋がります。

駅周辺再開発プロジェクト

現在、役場庁舎建て替えの検討など、当別駅を中心に「立地適正化計画」に基づくコンパクトなまちづくりに取り組んでいます。

これに関係する都市機能の誘導として、「第2期町営住宅等長寿命化計画」に基づき、末広団地7戸の移転補償や東町団地の一部解体実施設計を進めるほか、建設予定の民間ビル内に公共的施設を設置するなど、本町地区における賑わい創出や新たな人の流れを構築するため、図書館の施設配置等、事業化に向けた検討を行います。

移住促進プロジェクト

住宅地造成による分譲地の促進を図るため、民間による宅地造成の後押しとなる支援制度の議論を深めるなど、定住人口の増加に繋がります。

戦略プラン2の主要な事業	予算額
当別町コミュニティバス運行事業	2,671万円
新築住宅購入支援金	6,000万円
JR札沼線代替バス（月形当別線）運行事業補助金	2,938万円
ロイズタウン駅エリア賑わい創出事業	4,378万円
JR札沼線新駅（ロイズタウン駅）駅前広場整備事業	1,540万円
当別駅南口都市構造再編集集中支援事業	560万円
新庁舎整備プロジェクト	484万円
当別町観光協会補助金	520万円

小中一貫教育推進プロジェクト

本町が目指す一貫教育は学力向上を最大の目的として、ICTを活用した質の高い教育を進め、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ります。

併せて、小中学生を対象とした民間ノウハウを活用したプログラミング教室の開催に取り組むほか、とうべつ学園グラウンド整備や西当別中学校屋内体育館外壁改修工事を実施するなど、学校環境の改善を進めます。

子育て世帯応援プロジェクト

移住促進施策の効果により増えている子育て世帯の幼児教育・保育ニーズに応えるため、認定こども園おとぎのくにの園舎建て替えと、保育士の配置を増加させる支援を行い、入園を希望する子どもの受け入れに対応できる体制を整え、質の高い保育の提供に取り組みます。

戦略プラン3の主要な事業	予算額
産後健康診査事業	50万円
食育推進事業	170万円
当別町一体型義務教育学校（とうべつ学園）建設工事	2億2,419万円
デジタル教育推進事業	1,763万円
地域部活動支援事業	50万円
とうべつ未来学推進事業	34万円
プログラミング教室事業	324万円
西当別コミュニティセンター改修工事	5,000万円
認定こども園おとぎのくに施設整備事業	4億3,109万円
保育体制充実事業	1,296万円
子育て支援センター（西当別地区）運営業務委託	1,004万円

災害に強いまちづくりプロジェクト（新庁舎）

新庁舎建設は、新庁舎建設検討委員会で議論を進めており、まちの賑わい創出に繋げ、将来的な社会情勢の変化に対応した施設としての役割が求められています。

新庁舎の検討は、既存の公共施設の利活用や民間企業との連携、デジタル化推進などサービスの向上を図りつつ、事業費とのバランスが取れた適切な規模となる「スマート庁舎化」をベースに議論を進めます。

災害に強いまちづくりプロジェクト（雪対策）

新たな除排雪の在り方「当別モデル」を構築し、冬季間の生活環境改善に努めており、令和4年度は太美雪堆積場を新たに開設するなど、除排雪作業の効率化を図りました。

災害規模の降雪の際は「オール当別」で対応する体制を構築し、夜間排雪など排雪時間の延長も実施します。

これらと併せて、北海道開発局や北海道警察等の関係機関と連携を図り、必要に応じて災害対策本部を設置するなど、冬季も安心して暮らせる体制を整えます。

地域・在宅医療確保対策プロジェクト

町内の医療体制確保を最重要課題と捉え、「医療機関誘致条例」を制定し、誘致に取り組んだ結果、消化器内科と耳鼻咽喉科の誘致に繋げることができました。新年度は訪問診療に強みを持つ医療機関の誘致を予定しています。

地域福祉推進プロジェクト 北海道医療大学連携プロジェクト

医療系総合大学である北海道医療大学には、これまで医療・介護・社会教育など様々な分野で、本町の地域福祉を支えていただいています。

特に、北海道医療大学、地域包括支援センター、町が協働で実施している「フレイル予防教室」は、健康寿命の延伸に繋がるものであり、今後、西当別地区へ拡大を図り、高齢者の健康・生活支援にも取り組み「人生100年時代を支えるまち」の実現を目指します。

戦略プラン4の主要な事業	予算額
北海道医療大学連携推進プロジェクト事業	300万円
当別町健康増進計画等策定事業	86万円
地域生活サポーター活動支援事業 ※介護保険特別会計	224万円
買物支援事業 ※介護保険特別会計	206万円
地域リハビリテーション活動支援事業 ※介護保険特別会計	33万円
町道除排雪事業	5億4,950万円
橋梁長寿命化修繕事業	7,650万円
町道十六線道路改修事業	800万円
パンケチュウバシナイ川河川 ^{しんげつ} 浚渫事業	1,600万円
ガンビ沢川河川 ^{しんげつ} 浚渫事業	1,500万円

各種証明書のコンビニ交付事業

マイナンバーカードを活用し、札幌市などでも住民票などの交付が受けられるシステムを構築・運用します。

これに併せて、デジタルを活用したサービスの利用が苦手な方に対して、デジタルデバインド対策とマイナンバーカードの交付申請サポートを実施します。

リモート相談窓口整備事業

より身近な場所で行政手続きに関する質問・相談などができるよう、各拠点を結びリモート相談窓口を整備します。

それぞれの窓口を結ぶ端末を役場本庁舎、ゆとろ、太美出張所のほか、札幌市中心部への設置も検討しており、役場庁舎窓口の新たなスタイルを目指します。

デジタル教育推進事業

個別課題を把握し、個別最適な学びを実現するため、各学校における AI ドリルの導入をはじめ、ICT 支援員の派遣、プログラミング教室の実施、デジタルリテラシーの習得促進などに取り組みます。

気象観測システム導入事業

本町には、気象庁によるアメダス観測所が設置されていないため、新たに気象観測器を設置し、気象情報データの収集、蓄積を行い、様々な分野での利活用を図ります。

気象観測器は、ライブカメラとともに本町地区・西当別地区へ1カ所ずつ設置し、リアルタイムで公開します。

また、各種観測値が一定値を超えた場合には、町ホームページや SNS を活用して警戒を呼び掛けるなどの情報発信も行います。

戦略プラン5の主要な事業	予算額
業務自動化システム運用事業	452万円
デジタルデバインド対策事業	125万円
高度無線環境運用事業	574万円
リモート相談窓口推進事業	745万円
証明書等コンビニ交付事業	990万円
気象観測事業	4,545万円

おわりに

少子化対策への考え方

令和4年度は、とうべつ学園の開校や新築住宅購入支援金をはじめとする移住施策によって、子育て世帯を中心に転入超過となりました。これから「定住人口増加の町」へと向かうためには、少子化対策に注力する必要があると考えています。

国も4月に「こども家庭庁」を発足させ、また秋には「こども大綱」が閣議決定される見込みであり、本町としても少子化対策の中でも効果が見込まれる分野・必要な対策に狙いを定めた検討を進めます。

ウェルビーイング well-being

「人生100年時代」に突入している現代、経済的要因のみでは幸福度を満たすことはできず、この町で安心して暮らすことができるよう、ひとり一人が心身と社会的に「幸福感・満足感」が得られる、well-being なまちの在り方を模索し、それぞれの年代に即したデジタル技術を活用した施策の展開を図りたいと考えています。

関係人口・定住人口とまちづくり

関係人口増加への取り組みも、定住人口増加へと繋がるものと考えており、その一つであるふるさと納税は、令和3年度で約22万件的の寄付がありました。この22万件的の寄付者、いわゆる「当別町応援サポーター」との関係性をより深化させ、「関係人口」へとステップアップさせる取り組みも重要です。

これらと併せ、行政のDXはもとより地域のDX化による課題解決の工夫とそれを実現させる「DX協議会」の組成なども検討します。

その他の事業	予算額
人口ビジョン改訂版策定業務委託	475万円
消費者行政強化事業	504万円
町内会運営費補助金	805万円
合併処理浄化槽設置整備事業	286万円
公共下水道管渠布設事業（汚水） ※下水道事業特別会計	1億805万円
配水管整備業務（布設管） ※当別町水道事業会計	9,040万円
救急救助器具購入事業	107万円



教育行政執行方針

未来を拓く9年間 当別町小中一貫教育

昨年4月に、小中一体型の義務教育学校「とうべつ学園」が開校し、西当別小学校・西当別中学校で実践する小中分離型の一貫教育と合わせて、それぞれの強みを生かした当別町ならではの教育を展開する新たなステージが始まりました。

令和5年度は、この新たなステージで当別町が目指す教育を、誰もが共有できるキャッチフレーズとして『未来を拓く9年間』当別町小中一貫教育』をかかげることとしました。

町の宝である子どもたちが、自らの未来を拓き、やがては町の未来を拓く人材として育つことを願い、町内外の教育力を結集し家庭、学校、地域が組織的で魅力的な教育活動を実践します。

基本方針

幼保との連携、義務教育9年間の学びの連続性を踏まえた教育課程による「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成を基本方針とし、ICTを効果的に活用し、児童生徒の学ぶ意欲を引き出す主体的・対話的で深い学びの実現に努めます。

特に、学校における教育の重点を、授業の質を向上させる「授業改革」に置き、子どもたちの学力と学びの保障に取り組みます。

施策の展開

学力向上

- ・ ICT 支援員の配置や AI ドリルの導入により、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実
- ・ 学力向上推進講師や支援員・介助員・看護師の独自配置を継続し、習熟度に合わせた学習支援の実施
- ・ とうべつ未来学の充実のため、地域資源を生かした授業の展開を推進

学校と地域による連携

- ・ スクールソーシャルワーカーによる支援の充実、スクールカウンセラーの活用や適応指導教室の校内設置の検討
- ・ 「学びのハンドブック」の積極的な活用
- ・ 論理的に物事を思考する力や創造性・問題解決能力の育成を図るプログラミング教室の実施
- ・ 地元食材の活用促進や姉妹都市の食材を使った給食、地域食材を生かした食育授業の充実
- ・ 拠点校方式による部活動の負担軽減のための移動支援の実施

子育て支援

- ・ 「幼保小接続プログラム」を活用し、学校入学時の引継ぎ、学校児童と園児の交流、学校とこども園・発達支援センター間の情報交流や研修などの充実
- ・ 認定こども園おとぎのくにの園舎建て替えに対する支援
- ・ 加配保育士配置への補助を1名から3名に増員

社会教育

- ・ 当別高校、北海道医療大学、日本体育大学の他、総合型地域スポーツクラブなど地域の団体との連携強化
- ・ 古文書解析など、当別歴史・文化プロジェクトの充実
- ・ ことぶき大学などをはじめとした多世代交流の促進
- ・ 地域人材を活用し、放課後学習会、土曜教室・地域巡検による子どもの学びの場の創出
- ・ 子どもたちのスポーツ・文化活動に対する支援
- ・ 図書館と学校図書館との連携強化とともに、多くの方が読書に触れる機会の充実

施設整備

- ・ 西当別中学校屋内体育館の外壁修繕、西当別小学校・西当別中学校における放送設備の改修
- ・ ICT を効果的に活用するために有効な電子黒板を、西当別小学校と西当別中学校に導入
- ・ 西当別コミュニティセンター温水管等改修工事の実施

令和5年度 当初予算の概要

当別町各会計予算

195億780万円

() 内は前年度との比較
(-1億6,554万円)

会計名	令和5年度予算	令和4年度予算	対前年比増減	増減率	
一般会計	134億422万円	135億6,756万円	-1億6,334万円	-1.2%	
特別会計	国民健康保険	21億3,991万円	21億3,777万円	214万円	0.1%
	介護保険	17億2,369万円	16億8,704万円	3,665万円	2.2%
	介護サービス事業	6,599万円	6,606万円	-7万円	-0.1%
	後期高齢者医療	2億9,373万円	2億8,913万円	460万円	1.6%
	下水道事業	9億5,315万円	10億274万円	-4,959万円	-4.9%
水道事業会計	9億2,711万円	9億2,304万円	407万円	0.4%	
合計	195億780万円	196億7,334万円	-1億6,554万円	-0.8%	

当別町一般会計予算

134億422万円

(-1億6,334万円)

歳入

町税 1.4.9% 19億9,270万円
(+6,755万円)
町民税や固定資産税など

地方交付税 28.4% 38億1,295万円
(+5,827万円)
国から交付される依存財源

使用料及び手数料 1.0% 1億2,960万円
(-359万円)
施設使用料等の利用者負担分

国庫支出金 12.5% 16億7,319万円
(+7,632万円)
国からの補助金など

道支出金 4.8% 6億3,783万円
(-9,674万円)
道からの補助金など

寄附金 21.6% 29億100万円
(+2億100万円)
ふるさと納税寄付金など

繰入金 5.3% 7億1,758万円
(-7,209万円)
基金(町の貯金)からの補足分

繰越金 0.4% 5,000万円
(0円)
前年度予算の残額

町債 4.2% 5億6,680万円
(-3億5,550万円)
銀行等からの借入れ

その他 6.9% 9億2,257万円
(-3,856万円)
財産収入や補助金収入など

歳出

議会費 0.7% 8,538万円
(-302万円)
議会の運営費

総務費 26.8% 35億9,386万円
(+1億1,158万円)
庁舎管理、税務、企画事業

民生費 20.1% 26億9,896万円
(+5億1,737万円)
高齢者福祉や児童福祉事業

衛生費 7.0% 9億3,336万円
(+1億4,735万円)
ごみ処理や保健衛生事業

農林水産業費 4.1% 5億4,951万円
(-4,653万円)
農業振興や農地、山林の整備

商工労働費 0.4% 5,026万円
(-897万円)
商工振興、観光事業

土木費 12.3% 16億4,540万円
(-1億2,424万円)
道路や公園の整備・管理、除雪

消防費 3.7% 4億9,790万円
(-4,322万円)
消防活動、救急救命

教育費 7.1% 9億5,566万円
(-5億5,676万円)
学校の維持管理、社会教育事業

公債費 6.2% 8億2,904万円
(-1億5,633万円)
町債(町の借金)の返済

職員費 11.6% 15億5,988万円
(-57万円)
職員の人件費

その他 0.0% 501万円
(0円)
災害復旧費、予備費

とらべつ

歴史余話

当別町の文化事業を調べるなかで、1983年創業の菓子メーカー「ロイズコンフェクト」（以下、ロイズ）が、一人の画家の画業を紹介し続けていることを知りました。画家の名は、伊藤正（1915-89）。札幌の女学校や高校などで美術教師をしながら創作活動を続けた、北海道の美術界ではよく知られる画家です。

ロイズ創業者の山崎泰博社長は、太美出身。1999年、地元「ふと美工場」を建設しています。昨年3月にはJR札沼線（学園都市線）にロイズタウン駅が誕生しました。また2022年11月、工場内に見学・体験施設「ロイズカカオ＆チョコレートタウン」をプレオープンしました。

ロイズと伊藤正——両者を結びつけたのは、「太美の風景」でした。

終戦間近の1945年、札幌市立高等女学校の教師だった伊藤は、援農作業に従事する学徒動員の生徒たちを引率し、太美にやってきます。数カ月にはわたる滞在中、伊藤は学生たちの作業風景、太美の自然などを水彩画として描き残しました。

しかし、伊藤の作品は油彩中心だったこともあり、それらの作品が人目に触れる機会はありませんでした。1989年に伊藤が亡くなると、遺族らは作品の散逸を避けるため、札幌の「白樺画廊」に管理を委ねます。

それから時を経た2001年、この画廊を山崎氏が訪れます。偶然、段ボール箱に入った水彩画に目を留めた山崎氏は、そこに幼い頃の記憶を呼び覚ます懐かしい農村風景を見出しました。それが、伊藤が太美で描いた作品だったのです。

かつての故郷の風景が、絵で残されたことに感銘を受けた山崎氏は、水彩や油彩など1000点以上の作品を額装。2003年9月当別町教育委員会の後援を得て、ふと美工場の一室を利用し「伊藤正太美を描く展」を開催。2004年に伊藤の水彩画を紹介する冊子『ロイズと当別』を出版し、2006年7月にはふと美工場直売店内で伊藤正展も開催しています。

さらに2013年、伊藤の人生と画業を詳しく紹介した冊子『画家伊藤正と太美』を出版するなど、伊藤が描いた太美の風景を次々と紹介してきました。その理由を山崎氏は、「太美の歴史を知ってほしいという思いからだ」（前掲誌）と綴っています。

半世紀もの時を経て“再発見”された伊藤の水彩画。文化遺産は「価値の発見」であるならば、太美の原風景を留めた伊藤正の一連の作品群も、わがまちの貴重なアート（財産）といえるでしょう。

第28回 ロイズと伊藤正

ライター 井上 美香



太美にて 太美地区 清水氏、小村氏（昭和20年8月4日）
水彩

詩吟で人生にうるおいを

大畑 富雄 さん



全国吟道大会に出場した時の様子

ここに書ききれないエピソードや写真は
当別町ホームページ「現在をプラス生きる+」
でご覧ください。



詩吟を始めて50年。太美道場でも25年指導を続け、詩吟を後世に伝えるため模索する大畑富雄さんにお話しをお聞きしました。

村祭りで出会った詩吟

詩吟は、青山に住んでいた30代の頃に地域の方に誘われて始めました。誘われた当初は詩吟に対してあまり関心を持っていませんでした。なぜ始めたのかを思い返してみると、小学5～6年生の頃に青山での村祭りの舞台上で詩吟と剣舞が披露されていたので、その時の良い印象があり、抵抗なくすんなりと取り掛かることができたのかもしれません。

その後、浜益や平取町への転勤を経て、平成9年に太美に越してきました。平成11年2月には町議会議員の方と日本詩吟学院岳風会太美道場を立ち上げ、私が先生となって指導したのを皮切りに、太美での活動は今年で25年になります。

魅力とは

詩吟を長く続けてきた大きな理由の一つは、多種多様な方とのお

付き合いの幅が広がることです。私が詩吟を始めた当初、学校の先生や床屋の方、議員の方など様々な職種の方がいたので、詩吟を通して多くの方と関わりを持つことができました。

また、半年ごとに昇段するための審査会があったので、試験に向けて毎日が忙しく充実していました。学校を卒業してから試験を受ける機会はありませんので、試験に受かったときの喜びを味わうことができるのは、とても魅力的でした。次の段を狙って努力していくことが励みにもつながっていました。

詩吟は、5言絶句（五字×四句＝20文字）と7言絶句（七字×四句＝28文字）の短い漢詩を主に吟じるのですが、2句3息にして一区切りごとに呼吸するほか、間延びをしない、止めるところでしっかり止めるなどがポイントとなります。また、暗記をする必要もあります。ただ、75歳以上は見ても良いことになっています。声の出し方としては、叫んだり怒鳴るのではなく、腹の底から力強い声を出すということが必要で

す。なかなか悠々といかないので、取り組みがいがあります。

今後の目標

現在、新型コロナウイルスの影響による行動制限を受けたため、詩吟全体の活動が低迷しています。若い人たちが詩吟を始めていただくためにも、学校の授業の中に詩吟を取り入れるなどをして、子どもたちが詩吟への興味・関心を持つきっかけを作れば、裾野が広がると思います。

また、日本詩吟学院岳風会では精神修養として、人格を高めるという大きな目標を掲げており、詩吟を通して同じ目標を掲げる仲間を増やし、世の中を良くできたらと願っています。

**気力・活力・生命力を養い
人生を豊かにする詩吟
あなたの楽しみの一つに
加えてみませんか！**

教 場：西当別コミュニティセンター（小会議室）

日 時：毎週木曜日
10時～12時

問合せ：☎ 26 - 2175（大畑）

info.

- ・学校教育課（役場内・☎ 23 - 2689）
- ・社会教育課（役場内・☎ 22 - 3834）
- ・子ども未来課（ゆとろ内・☎ 23 - 3024）

巡回児童相談を実施 します

18歳未満のお子さんの発達の遅れ、療育手帳の判定などの相談をお受けします。定員は2名程度です。

▼日程 7月19日（水）

▼場所 ゆとろ

▼相談員 北海道中央児童相談所 児童福祉司・心理判定員

▼申込期限 4月24日（月）

▼問合せ 子ども未来課子育てサポート係（ゆとろ内・☎ 25 - 2658）

「ことぶき大学」受 講生を募集します

趣味の講座や健康・生きがいづくりの講演会、見聞を広げる視察研修、軽スポーツ、異世代との交流など楽しく学べる内容が盛りだくさんです。

▼実施日 5月～翌年3月

原則、第2・第4金曜日の10時～12時

▼場所 白樺コミセン、ゆとろ

※実施日・場所等変更の場合あり

▼対象・定員 町内に在住する60歳以上の方。定員は50名。

▼内容 趣味を広げ、教養を高める講座等（全21回予定）

※詳細は募集チラシをご覧ください

い（白樺コミセン・西当別コミセン、総合体育館、図書館、役場、ゆとろに設置しています）。

▼入学金 5,000円（保険料等）

▼申込期限 4月14日（金）

▼申込方法 住所・氏名・年齢・電話番号をお知らせください。

▼申込み・問合せ 社会教育課社会教育係（☎ 22 - 3834/FAX 23 - 3114）

学校支援地域ボラン ティア募集中

町内の子どものための教育を地域ぐるみで支援するため、ボランティアを募集しています。

▼ボランティア内容

- ・授業支援（水泳、剣道、柔道、スキーなど指導補助）
- ・学習支援（夏休み学習会、土曜教室、放課後学習会など）
- ・部活動支援（部活動、クラブ活動の指導補助）
- ・環境整備（図書室の整理、校舎の修理、花壇整備など）
- ・学校安全支援（登下校の通学路の安全指導、見守り活動など）
- ・学校行事支援（学芸会や文化祭、運動会等の準備手伝い）

▼問合せ 地域学校協働本部（社会教育課内・☎ 22 - 3834/FAX 23 - 3114）

親子で遊べる 「あそびのひろば」

▼開設時間 平日9時～14時

▼場所 ゆとろ、認定こども園おとぎのくに

▼申込み方法 電話、窓口、町HPまたは下記QRコード

※17日からは申込み不要。

▼問合せ 子ども未来課子育てサポート係（ゆとろ内・☎ 25 - 2658）

申込み用QRコード→



図書館からの お知らせ

図書館企画第30弾は新生活特集！

楽しい新生活を迎えられるような本をご紹介します。

▼展示 4月30日（日）まで

新着図書

当別町図書館【一般書】

・「しろがねの葉」千早 茜

・「此の世の果ての殺人」

荒木 あかね

西当別分館【児童書】

・「たまごのはなし」

しおたに まみこ

・「100ぴきかぞく」古沢 たつお

▼問合せ 当別町図書館（☎ 23 - 0573）

◎自衛官採用案内			平和を、仕事にする。 陸海空自衛官募集
採用種目	応募資格	受付期間	試験期日
一般幹部候補生	22歳以上26歳未満の者（20歳以上22歳未満の者は大卒（見込含）、修士課程修了者等（見込含）は28歳未満の者）	4月14日（金）まで	4月22日（土）、23日（日） ※2次試験有
一般曹候補生	18歳以上33歳未満の者	5月9日（火）まで	5月19日（金）～28日（日） ※2次試験有
自衛官候補生	18歳以上33歳未満の者	年間を通じて	受付時にお知らせ
予備自衛官補 ①一般公募 ②技能公募	①18歳以上34歳未満の者 ②18歳以上で国家資格等を有する者（保育士、衛生、語学、整備、情報処理、通信、電気、建設 など）	4月6日（木）まで	4月8日（土）～23日（日） いずれか1日

江別地域事務所では自衛官募集等に関する説明を実施しています。
メールでのお問合せは右記のQRコードから

▼詳細 自衛隊札幌地方協力本部江別地域事務所 ☎ 011 - 383 - 8955
役場環境生活課町民生活係 ☎ 23 - 3209



広告

副町長退任ごあいさつ

3月31日付で増輪肇副町長が退任しました。

退任にあたって



当別町前副町長
増輪 肇 氏

このたび、3月31日をもちまして副町長を退任させていただきますことになりました。

在任中の9年間、宮司前町長、後藤町長をはじめ、議会の皆様、町民の皆様には並々ならぬご指導と、ご協力を頂きましたことに心からお礼申し上げます。

当別町が限りなく発展することを願うと共に、皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

第20回統一地方選挙

北海道知事・北海道議会議員選挙

▼投票日 4月9日（日）7時～20時

▼期日前投票期間

・役場1階大会議室

4月8日（土）まで 8時30分～20時

・西当別コミュニティーセンター

4月1日（土）、2日（日）8時30分～17時

▼開票

4月9日（日）21時15分～ 総合体育館

当別町議会議員選挙

▼投票日 4月23日（日）7時～20時

▼告示日 4月18日（火）

▼期日前投票期間

・役場1階大会議室

4月19日（水）～22日（土）8時30分～20時

・西当別コミュニティーセンター

4月22日（土）8時30分～17時

▼開票

4月23日（日）21時15分～ 総合体育館

問 当別町選挙管理委員会（☎23-2330）

広 告

お知らせ

新型コロナウイルス 感染症対策

保健福祉課健康推進係
(ゆとろ内・☎23 - 4044)

マスク着用は個人の判断が基本です

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用と
していましたが、3月13日からマスク着用は、個
人の判断が基本となりました。ただし、以下のよう
な場合には、マスクを着用しましょう。

<周囲の方に、感染を広げないために>

- ◇医療機関受診時
- ◇高齢者等重症化リスクが高い者が多く入院・生活
する医療機関や高齢者施設等への訪問時
- ◇通勤ラッシュ時など、混雑した電車やバスに乗車
する時

<ご自身を感染から守るために>

- ◇風邪症状のある方、風邪症状がある同居家族がい
る方がやむを得ず外出する時
- ◇重症化リスクが高い方（高齢者、基礎疾患を有す
る方、妊婦）が混雑した場所へ行く時

様々な理由から、マスクを着用できない方も、
マスクを着用する必要がある方もいます。
『正しく理解し、思いやりのある行動を』

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従
業員がマスクを着用している場合があります。

感染を疑う症状がある場合は

感染を疑う症状がある

65歳未満で症状が軽く
自己検査希望の方など

診察の希望がある方、又は
65歳以上の方・基礎疾患の
ある方・妊娠している方など

抗原検査キットで自己検査

無料検査キット申し込み
陽性者登録センター
0120-025-451
または自費購入
※体外診断用医薬品(国承認)

発熱外来で受診・検査

①かかりつけ医に電話
②かかりつけ医がない方は
健康相談センター(24時間)
0120-501-507に電話

▼ 陽性(疑い)

▼ 陽性判定

陽性者登録センター

電子申請→陽性判定

届出
対象外
右記以外の方

届出
対象

①65歳以上の方
②入院を要する方
③重症化リスク有で
治療を要する方
④妊娠している方

ご自身による健康管理

保健所等による健康観察

▼ 体調悪化時の健康相談

北海道陽性者健康サポートセンター 0120-303-111 (24時間)

広 告

広 告

広 告

新型コロナウイルス ワクチン接種

保健福祉課コロナワクチン対策係
(ゆとり内・☎ 25 - 2667)

令和5年度については、9月以降に全年代を対象としたワクチン接種を実施します。

なお、初回接種（1・2回目接種）を終了した65歳以上の高齢者や基礎疾患がある方などの重症化リスクの高い方と、医療従事者・高齢者施設の従事者の方については、5月より追加の接種を実施します。

集団接種について

当別町では5月中旬から65歳以上の高齢者や基礎疾患がある方などの重症化リスクの高い方と医療従事者・高齢者施設の従事者の方を対象とした集団接種を実施します。集団接種の日程は確定次第、広報やホームページにてお知らせいたします。なお、全年代を対象とした接種は今秋に実施予定です。

※集団接種を希望する際は予約が必要です。

接種券について

4月末に接種券を送付いたします。すでに接種券をお持ちの方は、新たに接種券が送付されないのので、そのままお手元にある接種券をお使いください。

なお、65歳以上の高齢者や重症化リスクの高い方、医療従事者・高齢者施設の従事者の方以外は、お手元に接種券が届いてから接種するまでに期間が開くため、大切に保管してください。

ワクチンに関するお問い合わせ

北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター

ワクチンの副反応に関すること

0120 - 306 - 154

【受付時間】9時～17時30分（平日・土日祝日）

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

ワクチンの有効性・安全性に関すること

0120 - 761 - 770

【受付時間】9時～21時（平日・土日祝日）

広 告

広 告

広 告

お知らせ

令和5年度から町税の納付方法が拡充されます

税務課納税係 (☎ 23 - 2341)

令和5年度から新たに納付書に印字される地方税統一QRコード(eL-QR)やeL番号を利用することで、全国の地方税統一QRコード対応金融機関や対応しているスマートフォンの決済アプリから納付が可能となります。また、パソコン・スマートフォン等を使って、地方税共同機構の「地方税お支払いサイト」からクレジットカード・インターネットバンキング等による納付も可能となります。詳しくは、地方税お支払いサイト(右記QRコード)をご確認ください。
※利用可能な納付書にはエルマークが印字されています。



対応税目

町道民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税種別割、国民健康保険税(普通徴収)

金融機関窓口で納付する場合(現金での納付)

地方税統一QRコードが印刷されている納付書を金融機関窓口へお持ちください。

対応金融機関

全国の地方税統一QRコード対応金融機関

※金融機関により対応開始時期が異なる場合があります。ゆうちょ銀行・郵便局は5月以降対応予定です。

全国の地方税統一QRコード
対応金融機関はこちら→



スマートフォン決済で納付する場合

スマートフォン決済アプリを起動し、地方税統一QRコードを読み取ることで納付できます。対応のアプリなどは4月以降に随時、地方税お支払いサイトに掲載されます。スマートフォン決済アプリの利用方法等は各アプリのHPをご確認ください。

地方税お支払いサイトを利用して納付する場合

地方税お支払いサイトにアクセス、ログイン等を行い、地方税統一QRコードを読み取りeL番号を入力することで納付できます。

- ・利用可能日時：365日、24時間(システムメンテナンス時を除く)
- ・納付方法：クレジットカード、インターネットバンキング、ペイジー番号発行によるATMでの納付、ダイレクト納付(口座からの引落)
- ※eL番号とは納付書に印刷されている「収納機関番号」「納付番号」「確認番号」「納付区分」を言います。

スマートフォン決済・地方税お支払いサイトを利用した納付についての留意事項

- ・納期限が過ぎた納付書では納付できません。
- ・領収証書は発行されません。
- ・納付後、町が納付を確認できるまでに一定期間を要するため、すぐに納税証明が必要な場合は金融機関窓口やコンビニエンスストアで納付し、領収証書を役場窓口へご提示ください。
- ・金融機関、コンビニエンスストア、当別町役場窓口での納付方法は、現金での納付のみとなります。

広告

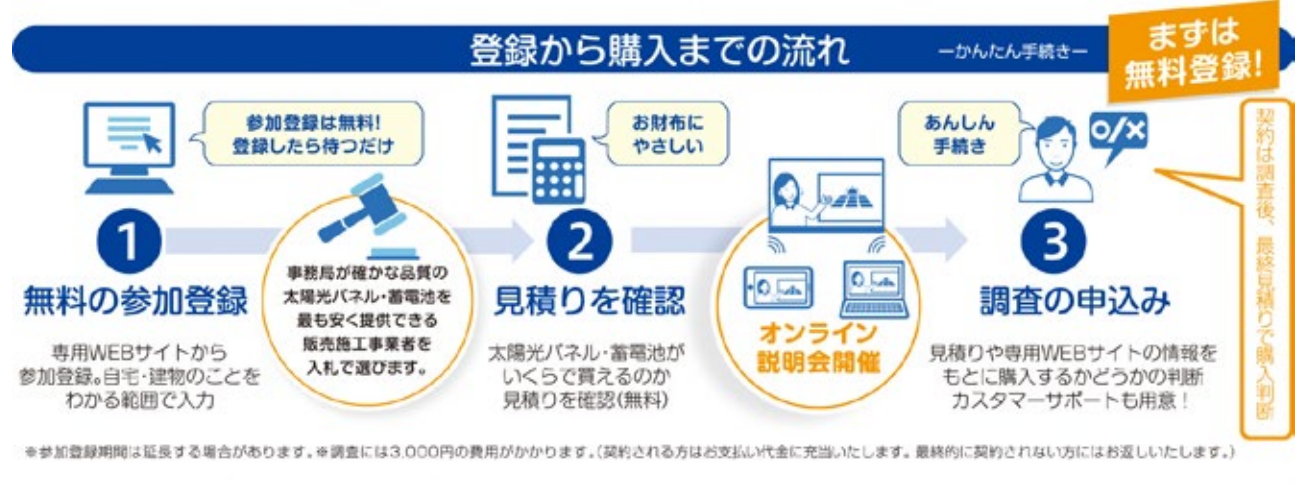
広告

太陽光パネル・蓄電池の共同購入事業「みんなのおうちに太陽光」の参加者を募集しています

北海道では、多くの人と一緒に安心して「太陽光パネル」や「蓄電池」を購入、設置できる共同購入キャンペーン「みんなのおうちに太陽光」の参加者を募集しています。電気代の削減が期待でき、災害時の電気の確保にも役立ちます。

期限 7月31日(月) **登録** 専用WEBサイト (<https://group-buy.jp/solar/hokkaido/home>) または右記QRコードでご確認ください。

問 北海道みんなのおうちに太陽光事務局 (☎ 0120 - 216 - 100)



土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧について

固定資産税の納税義務者は、自分の所有する土地・家屋の評価額を町内の他の土地・家屋と比較するために、評価額などを記載した帳簿を縦覧できます。

期間 土・日曜日、祝休日を除く4月3日(月)～6月30日(金) **時間** 8時45分～17時15分 **料金** 無料 **場所** 税務課資産税係 **要件** 納税者および同一世帯の親族、納税管理人、代理人(委任状が必要)、借地・借家人(有償の賃貸借契約書等が必要) ※次に該当する場合は縦覧できません。①免税点未満の資産(少額のため課税免除された資産)、非課税資産のみを所有する場合 ②土地だけを所有する方が家屋の縦覧をする場合(逆の場合も同様) **特参** 本人確認ができるもの(個人番号カード、運転免許証など)

問 税務課資産税係 (☎ 23 - 2333)

自転車はルールを守って乗りましょう

昨年11月に「自転車安全利用五則」の内容が変更されました。内容は ①車道が原則、左側を通行、歩道は例外、歩行者を優先 ②交差点では信号と一時停止を守って、安全確認 ③夜間はライトを点灯 ④飲酒運転は禁止 ⑤ヘルメットを着用 です。

また、道路交通法の改正により、これまでは「13歳未満の子ども」が対象であった乗車用ヘルメットが、4月からは「すべての自転車利用者(自転車を運転する人・同乗する人)」は、乗車用ヘルメットの着用が努力義務となりました。警察庁の調査結果では、ヘルメットを着用しない時の致死率は着用時と比べて約2.2倍も高くなっています。正しく着用して安全な自転車利用をお願いします。

問 環境生活課町民生活係 (☎ 23 - 3209)

広 告

広 告

お知らせ

マイナンバーカードに関するお知らせ

手続きの一部停止について

マイナンバーカード端末の全国的なシステム更新作業のため、下記期間はマイナンバーカードに係る手続きが一部実施できませんので、ご注意ください。

期間 5月1日（月）～5月2日（火） **内容**【実施できない手続き】カード内の住所や氏名の変更、暗証番号の初期化、電子証明書の発行、更新、失効【一部実施できない手続き】新規交付、有効期間変更および特例期間延長、一時停止解除

例 名前に外字が使われている方や、電子証明書不要で新規申請された方の交付手続き。転入時の署名用電子証明書の発行（6桁以上の暗証番号）。マイナポイント申請時、暗証番号が分からなくなった時の再設定。

転入・転居の際は住所変更の手続きが必要です

引越しによる転入・転居手続きの際にはカードの住所の書き換えや、継続利用の手続きが必要になりますので、必ずカードを持参ください。

※手続きにはカードの暗証番号（数字4桁）の入力が必要です。暗証番号が分からない場合は、再設定を行うことができます。

問 住民課戸籍年金係（☎ 23 - 2463）

4月から児童扶養手当等の額が改正されます

<児童扶養手当>

手当の区分	【改定前】	【改定後】
児童扶養手当（全部支給）	43,070円	44,140円
児童扶養手当（一部支給）	所得に応じて 43,060円 ～ 10,160円	所得に応じて 44,130円 ～ 10,410円
児童2人目の加算額	所得に応じて 10,170円 ～ 5,090円	所得に応じて 10,410円 ～ 5,210円
児童3人目以降の加算額	所得に応じて 6,100円 ～ 3,050円	所得に応じて 6,240円 ～ 3,130円

問 保健福祉課福祉係（ゆとろ内・☎ 23 - 3019）

<特別児童扶養手当>

手当の種類	【改定前】	【改定後】
特別児童扶養手当1級	52,400円	53,700円
特別児童扶養手当2級	34,900円	35,760円
特別障害者手当	27,300円	27,980円
障害児福祉手当	14,850円	15,220円

問 介護課障がい支援係（ゆとろ内・☎ 25 - 2665）

広 告

高齢者肺炎球菌予防接種のお知らせ

肺炎球菌による肺炎は、予防接種で発症や重症化を予防することができます。70歳～100歳までの5歳きざみの年齢の方は平成30年度も定期接種の対象となっており、接種歴がある方は対象外です。

なお、この予防接種は新型コロナウイルス感染症予防を目的とした予防接種ではありません。

対象 これまでに一度も肺炎球菌予防接種を受けたことがない人のうち、次の①～②に該当する方。

①令和6年3月31日までに65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳の誕生日を迎えられる方

②60歳以上65歳未満の方で心臓・腎臓・呼吸器に重い障がいのある方、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に身体障がい者手帳1級程度の障がいがある方。

料金 2,500円（生活保護世帯の方は無料）**会場** 予防接種実施医療機関（P28参照）**期限** 接種期限は、令和6年3月31日（誕生日前でも接種可能）まで。接種回数は1回です。**他** 事前に医療機関へ予約が必要です。また、入院・入所中など町外の医療機関で接種を希望される方は、事前にご連絡ください。**問** 保健福祉課健康推進係（ゆとろ内・☎23-4044）

こころ◎つながるフレイル予防教室の参加者募集

「体力が落ちた」「なにをするにも億劫^{おっくう}」など高齢期に心と身体の機能が衰えた状態を「フレイル」と言い、フレイルが進むと要介護になる危険があります。これを予防するための教室を北海道医療大学と協力して開催していますので、ぜひ、ご参加ください。

対象 65歳以上で介護保険サービス未利用の方

内容 簡単な運動や体操、講話など **料金** 無料 **日時** 【ゆとろ 多目的ホール】原則、第2・4火曜日 9時30分～11時、【西当別コミセン 大会議室】原則、第1・3木曜日 9時30分～11時 **問** 介護課高齢者支援係（ゆとろ内・☎27-5131）

乳幼児のいる世帯へ町のごみ袋を無償配布

町では、少子化対策事業として子育て世帯を応援するために、令和3年5月1日以降に生まれた乳幼児のいる世帯へ、1か月につき1人当たりおむつ用ごみ袋（20L袋）10枚を無償で配布します。

対象 対象世帯には、4月中旬以降に引換書を送付します。 **配布** 土・日曜日を除く4月20日（木）～4月28日（金）【ゆとろ】8時45分～17時15分、【太美出張所】9時～17時 **問** 保健福祉課福祉係（ゆとろ内・☎23-3019）

広 告

広 告

広 告

お知らせ

友遊会・かすみ草の集いの参加者募集

友遊会・かすみ草の集いは、外出機会が少ない高齢者が楽しく集まれるよう地域の方々が手作りする集いで、レクリエーションなどを行います。参加者と活動を支援するボランティアの方を募集します。

【友遊会】

対象 当別地区在住の高齢者で介護サービス未利用の方 **場所** ゆとろ **日程** 毎月1回（月曜日）10時～12時

【かすみ草の集い】

対象 太美地区在住の高齢者で介護サービス未利用の方 **場所** 西当別コミュニティーセンター **日程** 毎月1回（火曜日）10時～11時30分

【ボランティア】

日程 毎月2回（準備会と当日の運営）

問 【参加希望の方】介護課高齢者支援係（ゆとろ内・☎27-5131）【ボランティアの方】当別町ボランティアセンター（当別町共生型地域福祉ターミナル内・☎22-0400）

禁煙ポスターを募集します

5月31日は世界禁煙デーです。喫煙の健康に及ぼす影響や健康に対する意識を高めるための取り組みとして、タバコの害を訴え、禁煙を呼びかけるポスターを募集します。

【一般の部】

国内居住の一般の方（高校生を含む）が対象。

B2判もしくはB3判の用紙を縦位置に使用し、下の部分は禁煙週間日程などを記載するため空白（B2判170mm、B3判120mm程度）とする。

【小・中学校の部】

道内小・中学校の児童生徒が対象。

大きさや紙質は自由。

応募作品の裏面に、郵便番号、住所、氏名（ふりがな付き）、年齢、性別、電話番号、職業（児童生徒は学校名、学年）を明記。

締切日 5月15日（月）※当日消印有効

賞 各部最優秀1点、優秀3点、佳作若干。賞金または図書カード進呈。※小・中・高校の児童生徒は全員に粗品進呈。

応募先 札幌市中央区北4条西12丁目 北海道労働福祉会館4階 北海道公衆衛生協会内

問合せ 北海道禁煙週間実行委員会（☎011-222-3292）

広 告

障がい者日常生活用具「緊急時電源供給装置」等の給付対象拡大

【追加種目】 緊急時電源供給装置、保護ブーツ、パルスオキシメーター測定センサー（粘着式測定センサー・ソフトセンサー）、埋込型人工咽頭用人工鼻、情報・通信支援用具、視覚障害者用ラジオ（視覚障害者用緊急地震速報受信ラジオ）、視覚障害者用音声 IC タグレコーダー（物品種別装置）

【負担】 市町村民税課税世帯の方は1割負担、生活保護世帯及び非課税世帯の方は自己負担なしとなります（いずれも基準額の範囲内）。【他】 給付を受けるには、日常生活用具給付事業者からの見積書と医師の意見書（用具により必要）等が必要になります。詳しくは障がい支援係へ問合せください。【問】 介護課障がい支援係（ゆとろ内・☎ 25 - 2665）

移動献血車が来ます！献血にご協力ください

【4月7日（金）】 ① 9時30分～11時 下段モータース、② 11時30分～12時30分 当別消防署、③ 14時～16時30分 当別町役場

【4月19日（水）】 ① 15時～15時30分 宮永建設株式会社、② 16時～16時30分 辻野建設工業株式会社

【問】 保健福祉課福祉係（ゆとろ内・☎ 23 - 3019）

当別町健康増進計画等策定委員を募集

当別町の健康増進計画等に関する委員会を開催するため、委員を募集します。

【要件】 町内に在住、通学、通勤しており、健康づくりに興味がある20歳以上の方 【人数】 若干名 【任期】 令和5年5月1日～令和6年3月31日 【応募】 ゆとろ健康推進係または町HPにて取得できる応募用紙（任意様式でも可）に、必要事項を記入のうえ、4月20日までに健康推進係へ提出ください。【問】 保健福祉課健康推進係（ゆとろ内・☎ 23 - 4044）

東裏体験農村公園（貸農園）の利用者を募集

手づくり、採れたての野菜の味は格別です。東裏体験農村公園で野菜を栽培してみませんか。

【料金】 1区画60㎡（約18坪）6,000円 【期間】 5月上旬から10月31日（火） 【期限】 4月17日（月）

【場所】 旧東裏小学校隣 【他】 畑は耕起した後、貸し出します。作付けに必要な苗や用具などは持参ください。農村公園には簡易トイレ・用水路・水道・駐車場が設置されています。【問】 農務課耕地係（☎ 23 - 3096/FAX23 - 3206/mail: norin2@town.tobetsu.hokkaido.jp）

広 告

広 告

広 告

お知らせ

トイレの水洗化（合併処理浄化槽設置）費用を補助

下水道が整備されていない地域を対象に、合併処理浄化槽の設置に係る費用の一部を補助します。

対象 トイレがくみ取り式または単独浄化槽の世帯
※すでに設置工事に取り掛かっている場合は対象になりません。**補助** 取り付ける浄化槽により補助の上限額が異なります。※令和5年度より上限額が改正されましたので、町HP（右記QRコード）等でご確認ください。**問** 環境生活課環境対策係（☎ 23 - 2503）



水道の届け出を忘れずに

引っ越しなどで水道の使用停止や開始する時は、住民票の住所変更とは別に、水道の届け出が必要です。届け出は上下水道課窓口のほか、電話や電子申請でも受け付けています。水道の使用停止の届け出がない場合、水道を使用していなくても水道料金・下水道使用料がかかりますので、忘れずにご連絡ください。退去される際は凍結などの事故を防ぐため、水道の使用が終わりましたら水抜きをお願いします。

また、所有者や使用者の死亡等による名義変更や建物を取り壊す場合なども、届け出が必要です。

問 上下水道課業務係（☎ 22 - 2411）

国民年金保険料の支払い方法が増えました

国民年金保険料がスマートフォンアプリで支払いできるようになりました。対象決済アプリは「auPay」「d払い」「PayPay」「PayB」です。国民年金保険料の納付書のバーコードを決済アプリで読み取ることによって、電子決済ができますが、バーコードが印字されていない納付書（30万円を超える金額の納付書等）では利用できません。

また、納付書の左側に記載されている「収納機関番号」「収納番号」「確認番号」をPay-easy（ペイジー）対応のATM、インターネットバンキングまたはモバイルバンキングの画面に入力することで保険料の支払いができます。ただし、コンビニ内に設置されている複数の銀行に対応しているATMでは利用できません。

問 住民課戸籍年金係（☎ 23 - 2463）

当別川河川緑地の一部が通行不可になります

当別川かわまちづくり事業に伴う親水護岸整備工事のため、当別大橋下流の当別川河川緑地が7月から令和6年3月（予定）まで通行できなくなりますので、ご協力をお願いします。詳細は町HPでご確認ください。**問** 建設課維持管理係（☎ 23 - 3197）

広 告

広 告

広 告

納税や町営住宅使用料等の夜間相談日を拡充

毎月第2・4木曜日に行っている夜間相談は、4月から土・日曜日、祝休日を除く平日すべてで行います。現在と同様に予約制ですので、ご希望の日までに電話またはインターネット予約システムにてご予約ください。詳しくは当別町 HP または下記 QRコードにてご確認ください。

問【納税】税務課納税係（☎23-2341）【町営住宅】建築課建築住宅係（☎23-3147）



納税



町営住宅

寄付・寄贈

☆当別町ふるさと納税へ2月納入分

計2,277人から3,362万円ご寄付いただきました。ご寄付いただいた方の氏名等は町ホームページに掲載しています。

☆新しいまちの顔のづくりプロジェクト基金へ

「新駅の構築及び周辺の開発促進の取組に対する寄付として」

▼王子・伊藤忠エネクス電力販売株式会社 多額の寄付

☆当別町社会福祉協議会へ

▼当別町ことぶき大学 受講生一同より 3千円、タオル27枚、雑巾35枚、靴下10足、石鹸18個

▼全久寺婦人会より 3万円

▼田中 信幸さんより 5万円

町政功労者逝去

佐々木 弘藏さん

令和5年3月18日逝去（90歳）

平成23年 町政功労者賞受賞

<経歴>

昭和52年から昭和60年まで石狩地区農業共済組合の理事として、平成8年から平成26年まで石狩北部森林組合の役員として、平成6年から平成10年まで当別町観光協会理事として、町政発展のために寄与されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

行政相談委員が選任されました



中山 茜さん

新しい行政相談委員に、中山茜さんが選任されました。行政相談員委員は、行政に関する苦情や要望などの相談を受けて、相談者への助言や関係機関に対して通知を行っています。

広 告

広 告

広 告

お知らせ

第1回当別町ゼロカーボン勉強会を開催します

ゼロカーボンやカーボンニュートラル、カーボンオフセットって何？気候変動について一緒に学び、当別の未来を考えていく勉強会を開催します。

日時 4月18日(火) 19時～21時 **場所** 当別町商工会2階 **内容**【第1部】ゼロカーボンセミナー【第2部】ワークショップ

問 松岡 (☎090-7514-0614)

申込は右記QRコードから



ふれあい倉庫



問 (☎27-6600)

宇和島市から柑橘を順次入荷予定



宇和島市から、春が旬の柑橘である「甘夏・せとか・かわちぼんかん文旦・河内晩柑」などを順次入荷する予定です。

夏季営業時間が変わります

4月から10月末まで夏季営業時間になります。

時間 9時～18時 ※5月1日はGW期間中ですが、お休みします。

春のキッチンカーフェスを開催します

商店街にキッチンカーが集結！町内からはスウェーデンヒルズゴルフ倶楽部レストラン レクサンドやスマイルパーク、わんだほうなどが出店するほか、8台のキッチンカーが各店自慢のテイクアウト商品を販売します。

日時 4月8日(土) 11時～16時 **場所** 当別まちづくり株式会社駐車場(つくしの家前) **主催** 当別町商工会 **共催** 本通振興会、中央通り会 **問** 当別町商工会 (☎23-2447)

春の花咲くコンサート2023を開催します

とうべつ学園吹奏楽部とOBによる演奏会を開催します。少人数のアンサンブルやマーチのほか、ディズニー音楽なども演奏します。

日時 5月4日(木祝) 14時～ **場所** とうべつ学園体育館 **料金** 無料 **他** 上靴必要 **問** とうべつ学園吹奏楽部顧問 高橋 (☎23-3102)

広告

広告

広告



当別消防署からお知らせ

■問合せ
☎ 23 - 2537

■ 住宅火災が多発しています！

2月に、火災による死者が発生した住宅火災が町内で2件ありました。

住宅火災は、日常のふとした油断や不注意により起こる事が多く、一度発生した場合は、皆さんの身体・財産に甚大な被害を及ぼすものになります。町民の皆さんは、今一度ご自宅や職場等の火の用心の徹底をお願いします。



<令和5年町内で発生した火災件数（2月28日現在）>

- ・火災件数：2件（昨年比+2）
- ・火災による死者：3名（昨年比+3）
- ・火災による負傷者：0名（昨年比±0）

■ 令和5年春の火災予防運動を実施！

当別消防署は、4月20日から4月30日までの11日間「令和5年春の火災予防運動」を実施します。この運動は、雪解けとともに空気が乾燥し火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、町民の皆さんの防火に対する意識をより一層高めてもらい、火災の発生を防止し、火災から「生命・身体・財産」を守ることを目的に実施します。期間中、火災予防を推進するため町内事業所に火災予防啓蒙パネル等の設置や、防火安全対策の徹底を図るため指定防火対象物査察を実施します。また、消防職（団）員が、大型店舗前で来店者に対し防火マスコット、防火ティッシュを配布しながら、火災予防を呼び掛ける店頭広報を実施します。

■ 防火講習を受講してみませんか？

町民のみなさんの日頃の火災予防に対する意識向上のため、町内会等での防火講習のご検討をお願いします。防火講習では、火災予防に対する講話、火災再現実験等も実施しております。受講料等の費用はかかりませんので、お気軽に消防署までご連絡ください。

広 告

広 告

広 告

HOT コミュニケーション

レクサンド市の子どもたちが描いた絵画を展示

姉妹都市提携 35 周年を記念して、レクサンドと当別町の子どもたちが制作した作品を交換し展示しました。今回は、レクサンド市・オーケロー小学校の児童が描いた絵画 40 点を、2 月 9 日から 24 日



までの期間にとうべつ学園、西当別小学校には 2 月 24 日から 3 月 6 日までの期間に展示しました。

レクサンド市長と会談

当別町と姉妹都市提携を結んでいるレクサンド市の新市長にセバスチャン・ラーション氏が就任したため、2 月 20 日にオンラインで首長会談を行いました。会談ではデジタルを活用した交流の可能性、



高校生ホームステイ事業、定期的な会談の実施など、これからの交流の方針について意見交換をしました。

駐スウェーデン大使が表敬訪問

のうけ
能化正樹 駐スウェーデン王国特命全権大使が、3 月 3 日に当別町役場を表敬訪問されました。これまでの訪問事業の交流の歴史、コロナの状況などの情報交換を行い、大使はスウェーデンでの訪日観光の



関心の高さやレクサンド市と当別町の交流が両国の文化交流につながっている点などを話していました。

オンラインでレクサンド市と演劇交流

3 月 19 日に、レクサンド市との姉妹都市交流 35 周年を記念して、Drama Project 実行委員会による演劇交流発表会がふれあい倉庫カルチャーホールで開催され、72 名が観劇しました。オンラインで両会場が結ばれ、



当別チームとレクサンドチームが同じストーリーを演じ、観劇者はそれぞれのチームの違いを楽しみました。

広 告

広 告

広 告

亜麻を生活に取り入れる

亜麻のふるさと当別活性化協議会が、2月22日にガーデニングのワークショップを開催しました。亜麻公社の橋本社長と当別高校の高橋教諭が亜麻の歴史や土の肥料の配合、亜麻の種のまき方などを説明し、参加者は



亜麻の種まきのほか、植木鉢にピオラやアリッサムなどの花を植え、ガーデニングの基本を学んでいました。

地域貢献活動感謝状を贈呈

ハヤカワ建設株式会社（当別町）、萩原建設工業株式会社（札幌市）、菱中建設株式会社（札幌市）の3社が、2月20日から27日に町営住宅5団地空き家（52戸）の屋根の除雪作業に地域貢献活動



として取り組みました。この活動に感謝し、3月3日に建設水道部長より感謝状を贈呈しました。

耳でも楽しむグルメフェス

3月12日に、JR当別駅自由通路で町内の飲食店8店が料理を販売する「当別駅ナカ・グルメフェス」が開催されました。2組のデュオによる生演奏が流れる中、昼食を買いに来た人で大賑わい。訪れた方は「知り合いからおすすめされて来た。今まで行ったことのないお店のものを買った」と笑顔で話していました。



知り合いからおすすめされて来た。今まで行ったことのないお店のものを買った」と笑顔で話していました。

デジタル社会を切り拓く

サツドラHDとの包括連携協定による取り組みの一環として、3月21日にD-SCHOOL北海道の体験会が西当別コミセンで行われました。プログラミングなどを通してデジタル社会を生き抜く力を身につけることが目的で、子どもたちは楽しみながら体験していました。当別校は4月15日に開校します。



身につけることが目的で、子どもたちは楽しみながら体験していました。当別校は4月15日に開校します。

広 告

広 告

広 告



【営業時間】

本館 9時～18時
レストラン 11時～17時L.O.
セブンイレブン 24時間営業
農産物直売所
4月下旬オープン予定
※農産物直売所の正式なオープン日は日程が決まり次第、道の駅ホームページまたはSNSにてお伝えします。

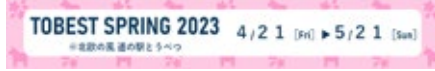
【施設情報】

住所 当別太 774-11
電話 27-5260
FAX 27-5261
Mail hello@tobest.co.jp

道の駅とうべつ
公式ホームページ→



『TOBEST SPRING 2023』を開催します



春を彩る、
華やかなアイテムが大集合
道の駅では、春を感じられるイベント『TOBEST SPRING 2023』を開催します。各店から見た目も可愛く、春のフレッシュさを楽しめる限定メニューを用意します。
※店舗により提供数に限りがございます。

今月のおすすめ商品

黒豆入りパスタソース



当別町産黒豆を使用した道の駅オリジナルのパスタソース。味は、ペペロンチーノ、カルボナーラ、ボロネーゼの3種類です。

アウトドア商品あります

道の駅ではスモーク用ウッドチップや、カラフルで女性にも人気のメスキットなど、アウトドアメーカー『LOGOS』のアイテムを一部取り扱っています。
売店で販売しているジンギスカン肉や当別産野菜を組み合わせ、焼き肉など、アウトドアを楽しんでください。



広告

広告

広告

広告

LINE からオンライン申請

■問合せ 政策広報課政策広報係 (☎23-3069)

当別町で行っている各種健診・検診などのオンライン申請ページへ、町公式LINEアカウントから簡単にアクセスできるようになりました。

メニュー右下の「オンライン申請」のボタンをタップすると、各種申請ページへの選択肢が表示されますので、ご希望のものを選択してください。

このほか、町公式LINEでは町内のイベントや防災情報、ごみの分別など様々な情報を受け取ることができます。下記QRコードからLINEの友だち登録をお願いします。



↑町公式LINEアカウント



↑詳細はこちら

←町公式LINE画面

広告

広告



登場人物



ト〜ベツさん…
ツチノコがいたら
大事に育てたい



ニシト〜さん…
山菜が採れたら
どう料理するか考えてる

広告

各種健診等のご案内

健診等の日程は p.30 町内イベントカレンダーをご覧ください。

町のホームページから
でも確認できます→



乳幼児健診 各種健康診査
各種事業

<注意>

- ・乳幼児健診と BCG 予防接種は対象者へ個別にご案内します。
- ・健診を希望する方は、健診日の 1 週間前までに健康推進係へ申し込みください。
- ・特定健診やがん検診は、町内イベントカレンダー以外の日程でも受けることができます。

急病時・夜間の相談先

■救急安心センターさっぽろ

24 時間・365 日、看護師が相談に対応。受診可能な医療機関をご案内します。

・電話番号 # 7119 または 011 - 272 - 7119

■こども医療でんわ相談

症状に応じた一般的な対処・助言を看護師等から受けられます。診断・治療はできません。

・受付時間 19 時～翌朝 8 時

・電話番号 # 8000 または 011 - 232 - 1599

■北海道救急医療・広域災害情報システム

緊急時に受診可能な道内の病院を 24 時間（年未年始などの連休も可）検索できます。

・フリーダイヤルは 0120 - 20 - 8699

・携帯電話からは 011 - 221 - 8699

・インターネット検索は <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

休日・夜間の受診先

<休日・昼間>

日曜・祝休日は江別市内内科小児科休日急病当番をご利用ください（※ p.30 町内イベントカレンダー参照）。乳児の場合は一部の医療機関で事前連絡が必要となりますので、ご注意ください。

町のホームページから
でも確認できます→



急病当番医

※医療機関の都合により、変更となる場合があります。最新情報は新聞紙上や救急安心センターさっぽろ、北海道救急医療・広域災害情報システムでご確認ください。

<夜間>

■江別市夜間急病センター **内科** **小児科**

・住所 江別市錦町 14 - 5

・受付時間 18 時 30 分～翌朝 6 時 30 分（年中無休）

・電話番号 011 - 391 - 0022

■勤医協中央病院 **内科**

・住所 札幌市東区東苗穂 5 条 1 丁目 9 - 1

・受付時間 19 時～翌朝 9 時（年中無休）

・電話番号 011 - 782 - 9111

近くの医療機関案内

診療時間は、町のホームページに掲載しています。少し遅い時間に診療している医療機関もありますのでご確認ください。

予防接種（個別）・健診 実施医療機関

ご希望の方は、事前にお申込みください。

医療機関名	電話番号 (札幌市外局番 011)	予防接種				健診
		4 種混合・ 不活化ポリオ・ヒブ・ 水痘・MR・DT	小児肺炎球菌・ B 型肝炎・ロタ	日本脳炎	高齢者 肺炎球菌	特定健診・ 後期高齢者健診・ 肝炎ウイルス検診
勤医協当別診療所	23 - 3010	●		●	●	●
さいわい内科消化器クリニック	27 - 7591				●	●
スウェーデン通り内科循環器科クリニック	25 - 3151	●	●	●	●	●
田園通りさわぎき医院	25 - 2055	●	●	●	●	●
とうべつ内科クリニック	22 - 1313				●	●
とうべつ整形外科	25 - 5040			6 歳～	●	
北海道医療大学病院(札幌市北区)	778 - 7575	●	●	●	●	●

※小児科定期予防接種（子宮頸がん除く）は、江別市内の小児科 6 カ所でも接種可能です。

ピロリ菌と胃がん

みなさんは、ピロリ菌を知っていますか？ピロリ菌とは、ヘリコバクター・ピロリという胃の粘膜に感染する細菌のことで、胃がん等の疾患と密接な関係があることが分かっています。

ピロリ菌の感染経路

ピロリ菌は、唾液や糞便、井戸水などを介した感染が大部分とされています。上下水道が十分普及していなかった40歳以上の世代で、感染率が高くなっていると言われています。また、親から子どもへの口移しも感染リスクが高く、最近では家庭内感染が主な感染経路と言われています。5歳までの子どもは胃の酸性が弱く、ピロリ菌に感染しやすいため、口移し等の行為は感染リスクを高めてしまいます。

ピロリ菌と胃がんの関係

現在、日本で発見される胃がんの99%がピロリ菌によるものであることが分かっています。

ピロリ菌はゆっくりと胃に炎症を起こし、慢性胃炎となります。感染が持続することで胃全体へと炎症が広がり、胃粘膜の胃液や胃酸を分泌する組織が減少します。その結果、胃粘膜が薄くやせ、萎縮が進行(萎縮性胃炎)した結果、胃がんを引き起こしやすい状態になります。



ピロリ菌を調べるには？

ピロリ菌は日本人全体の50%、50歳以降では70%以上が感染していると言われており、一度は調べておく安心です。検査は数種類あり、呼気、血液、尿、便を調べるものが主です。そのため、どの検査も身体に負担が少ないです。町では、健診の際にオプションでピロリ菌検査をすることが出来る健診もありますので、ご希望の方は下記問合せ先までご連絡ください。

除菌で胃がんリスクを軽減

ピロリ菌に感染していることが分かった場合は、除菌することが推奨されています。除菌することにより、胃の炎症が徐々に軽快し、萎縮性胃炎も改善する傾向があり、胃がんの発生率を抑制できることが分かっています。しかし、除菌したからと言って胃がんのリスクが全くなくなるわけではないため、定期的ながん検診を受け続けることが大切です。

中学2年生へのピロリ菌検査及び助成事業

町では、中学2年生を対象にピロリ菌検査および除菌治療等費用助成事業を実施しています。対象者には4月中に案内が届きますので、この機会を活用して検査をすることをお勧めします。

▼問合せ 保健福祉課健康推進係（ゆとろ内・☎23-4044）

広 告

町内イベントカレンダー 4月

月	火	水	木
3	4	5	6 フレイル予防教室（要予約） 西コミ 詳細 P17
10	11 フレイル予防教室（要予約） ゆとろ 詳細 P17 女性の健康相談（江別保健所） 13時30分～15時30分	12	13 4カ月・10カ月児健診 ゆとろ 13時～14時 法律相談（要予約） ゆとろ 13時30分～ BCG接種 ゆとろ 13時45分～14時
17	18 当別町議会議員選挙 告示日 かすみ草の集い 詳細 P18 第1回当別町ゼロカーボン勉強会 詳細 P22 すくすく相談（要予約） 西コミ 10時～16時	19 移動献血車 詳細 P19 当別町議会議員選挙期日前投票 （22日まで）役場 詳細 P11 健診結果説明会 ゆとろ 9時30分～12時 教育委員会定例会 役場 14時～	20 フレイル予防教室（要予約） 西コミ 詳細 P17 年金事務所出張相談 商工会 10時～15時 心の健康相談（江別保健所） 13時30分～16時
24 巡回児童相談 申込期限 詳細 P10 友遊会 詳細 P18	25 フレイル予防教室（要予約） ゆとろ 詳細 P17	26 健診結果説明会 ゆとろ 9時30分～12時 歯科健診・フッ素塗布（要予約） ゆとろ 13時20分～16時	27 農業委員会総会 第二庁舎 16時～
1	2	3 <江別市急病当番医> 大麻内視鏡内科クリニック ♠ 386-3366、9時～17時	4 春の花咲くコンサート 詳細 P22 <江別市急病当番医> 北町クリニック ★ 386-2160、9時～17時 松尾こどもクリニック ♥ 384-8819、9時～17時

当別町役場

平日 8時45分～17時15分
白樺町 58番地 9
(☎ 23-2330)

戸籍・住民票・印鑑証明
住民課戸籍年金係
(☎ 23-2463)

国民健康保険・後期高齢者医療
住民課国保・後期高齢者医療係
(☎ 23-2467)

住民税・軽自動車税
税務課税務係
(☎ 23-2332)

所得（課税）証明
税務課税務係
(☎ 23-2332)

固定資産税・評価（公課）証明
税務課資産税係
(☎ 23-2333)

納税相談・納税証明
税務課納税係
(☎ 23-2341)

消費生活相談
環境生活課町民生活係
(☎ 23-3209)

ごみ・リサイクル
環境生活課環境対策係
(☎ 23-2503)

上水道・下水道
上下水道課業務係
(☎ 22-2411)

町営住宅
建設課建築住宅係
(☎ 23-3147)

太美出張所

平日 9時～17時
太美町 1480番地 58
太美郵便局内
(☎ 26-3190)

各種証明発行
各種税金・料金収納
ごみ処理依頼書交付 など

※日程や会場が変更となる場合がありますので、最新情報はホームページなどでご確認ください。

金	土	日
	ふれあい倉庫 夏季営業時間開始 【詳細 P22】 北海道知事・北海道議会議員選挙 期日前投票（8日まで） 【詳細 P11】	<江別市急病当番医> 溪和会江別病院 ★ 382-1111、9時～17時 よしなりこどもクリニック 391-4470、9時～17時
移動献血車 【詳細 P19】	春のキッチンカーフェス 【詳細 P22】	北海道知事・北海道議会議員選挙 【詳細 P11】 <江別市急病当番医> みはらしクリニック ♠ 384-3184、9時～17時
ことぶき大学受講生 申込期限 【詳細 P10】		<江別市急病当番医> 江別循環器 ★ 389-0810、9時～17時 江別市立病院 ♥ 382-5151、8時30分～17時
1歳6ヵ月・3歳児健診 ゆとろ 13時～14時	当別町議会議員選挙期日前投票 西コミ 【詳細 P11】	当別町議会議員選挙 【詳細 P11】 <江別市急病当番医> アウル内科クリニック ♠ 383-3456、9時～17時
	<江別市急病当番医> 江別内科クリニック ★ 381-8900、9時～17時 ウルトラ内科小児科クリニック ♥ 688-8801、9時～17時	<江別市急病当番医> おくの内科胃腸科クリニック ♠ 381-0501、9時～17時
<江別市急病当番医> 平賀内科クリニック ♠ 382-5989、8時30分～17時		<江別市急病当番医> 友愛記念病院 ★ 383-4124、9時～17時 あずま子ども家庭クリニック ♥ 385-2500、9時～17時

各種連絡先

法律相談
ゆとろ・保健福祉課福祉係
(☎ 23-3019)

年金事務所出張相談
札幌北年金事務所予約窓口
(☎ 011-717-4112)

心の健康相談・断酒会の集い
女性の健康相談
江別保健所
江別市錦町4番地の1
(☎ 011-383-2111)

心配ごと相談
ひきこもり相談
当別町社会福祉協議会
西町32番地2 ゆとろ内
(☎ 22-2301)

障がい相談
障がい者総合相談支援センター
ななかまど 弥生51番地38
(☎ 23-1917)

各種施設

総合体育館
第1・3（・5）月曜日休館
（祝日の時は翌日）
9時～21時30分
白樺町2792番地
(☎ 22-3833)

白樺コミュニティセンター
月曜日休館（祝日の時は翌日）
9時～22時
白樺町2792番地1
(☎ 23-2511)

西当別コミュニティセンター
月曜日休館（祝日の時は翌日）
9時～22時
太美町22番地7
(☎ 26-3300)

当別町図書館
月曜日休館（祝日の時は翌日）
10時～17時
錦町1248番地7
学習交流センター内
(☎ 23-0573)

西当別分館
月曜日休館（祝日の時は翌日）
10時～21時
※日曜日は17時まで
太美町22番地7
西当別コミュニティセンター内
(☎ 26-3300)

ゆとろ

平日8時45分～17時15分
西町32番地2
(☎ 25-2661)

各種健診・健康相談
保健福祉課健康推進係
(☎ 23-4044)

児童手当・子ども医療費助成
保健福祉課福祉係
(☎ 23-3019)

介護サービス
介護課介護保険係
(☎ 23-3029)

高齢者支援サービス
介護課高齢者支援係
(☎ 27-5131)

障がい者（児）福祉
介護課障がい支援係
(☎ 25-2665)

あそびのひろば・子育て相談
子ども未来課子育てサポート係
(☎ 25-2658)

福祉総合・介護・認知症相談
地域包括支援センター
(☎ 25-5152)

コロナ

コロナウイルスワクチン
接種全般の相談
コロナワクチン対策室
コロナワクチン対策係
(☎ 25-2667)

※江別市急病当番医について（市外局番011）

★…内科のみ、♥…小児科のみ、♠…乳児事前連絡必要

Town Topics

タウントピックス

まちの話題 政策広報課政策広報係 (☎ 23 - 3069)

広報誌で紹介した写真は希望者に提供します。

マスクを外して素顔で卒業式

3月11日 とうべつ学園・西当中 3月18日 西当小

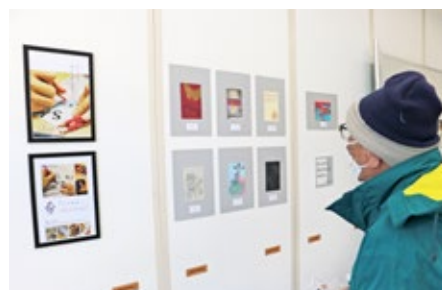
町内の学校で卒業式が行われ、とうべつ学園の生徒50名、西当中の生徒41名と西当小の児童36名が、マスクを外して晴れやかな顔で卒業しました。西当中の卒業式では、卒業生代表として須藤蒼平さんが「1年生の時はコロナウイルスの影響で行動が満足にできなかったが、毎日仲間と笑って過ごすことができた。先生方、保護者の皆さんありがとうございました」と感謝の気持ちを述べていました。



個性光るアート作品展

2月25日～3月5日 町内3会場

とうべつ学園の美術部員が、当別まちづくり株式会社主催の部活動の地域移行に向けた体制構築や環境整備の実証事業として、昨年10月から今年2月にかけてプロのアーティストから技法や技術の指導を受けながら作品を制作し、旧・カネヨよねぐち呉服店、ふれあい倉庫、当別郵便局に展示しました。美術部の生徒は「新しいことに挑戦できて、活動の幅が広がった。違う価値観が生まれた」と話していました。



町公式ホームページ・SNS

ホームページ twitter Facebook LINE



@town_tobetsu

■人の動き 3月1日現在 ※ () は前月との比較

人口	15,327人 (2人減)	男	7,494人 (2人増)
世帯	7,734世帯 (2世帯減)	女	7,833人 (4人減)

編集・発行 当別町政策広報課政策広報係 広報「とうべつ」4月号 令和5年4月1日発行 通巻835号